

大阪広域水道企業団 平成29年度2月補正予算案の概要

〔 水 道 事 業 会 計 〕

(水 道 用 水 供 給 事 業)

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (水道用水供給事業)	平成29年度2月補正予算額	△40億59百万円
	平成29年度現計予算額	815億04百万円
	平成29年度最終予算額	774億45百万円

上段 今回補正
中段 平成29現計
下段 平成29最終

事業名		事業費	主な補正理由等
収益的 収支	水道用水供給事業収益	3億00百万円 439億56百万円 442億56百万円	給水収益の増 (有収水量の増 当初508百万m ³ →2月補正512百万m ³) 受託工事収益の減
	水道用水供給事業費用	△12億60百万円 401億97百万円 389億37百万円	単価変動による動力費の減 入札差金による薬品費、委託料等の減
資本的 収支	水道用水供給事業資本的収入	△39億54百万円 150億78百万円 111億24百万円	国庫補助金等の減 建設企業債の減
	水道用水供給事業資本的支出	△27億99百万円 413億07百万円 385億08百万円	設計精査等による改良費の減

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単年度損益	21億31百万円 19億20百万円 40億51百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

(市町村域水道事業)

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (市町村域水道事業) 【3事業連結】	平成29年度2月補正予算額	△12百万円
	平成29年度現計予算額	25億55百万円
	平成29年度最終予算額	25億43百万円

上段 今回補正
中段 平成29現計
下段 平成29最終

事業名		事業費	主な補正理由等
収益的 収支	水道事業収益	— 17億72百万円 17億72百万円	—
	水道事業費用	5百万円 17億54百万円 17億58百万円	貸倒引当金繰入額の増(四條畷、太子、千早赤阪)
資本的 収支	水道事業資本的収入	△1億26百万円 3億72百万円 2億46百万円	建設企業債の減(四條畷、太子) 国庫補助金等の増(四條畷) 国庫補助金等の減(太子)
	水道事業資本的支出	△16百万円 8億02百万円 7億85百万円	設計精査等による改良費の減(太子)

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単年度損益	△5百万円 6百万円 1百万円
---------	-----------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

市町村域水道事業予算内訳

上段 今回補正
中段 平成29現計
下段 平成29最終

事業名		市町村域水道事業 【3事業連結】	四條畷水道事業	太子水道事業	千早赤阪水道事業
収益的 収支	水道事業収益	— 17億72百万円 17億72百万円	— 13億15百万円 13億15百万円	— 2億79百万円 2億79百万円	— 1億78百万円 1億78百万円
	水道事業費用	5百万円 17億54百万円 17億58百万円	1百万円 13億08百万円 13億09百万円	4百万円 2億73百万円 2億77百万円	△0百万円 1億74百万円 1億74百万円
資本的 収支	水道事業資本的収入	△1億26百万円 3億72百万円 2億46百万円	△32百万円 1億28百万円 95百万円	△94百万円 1億27百万円 33百万円	— 1億17百万円 1億17百万円
	水道事業資本的支出	△16百万円 8億02百万円 7億85百万円	— 3億99百万円 3億99百万円	△17百万円 2億18百万円 2億01百万円	1百万円 1億85百万円 1億86百万円

*端数処理の関係で数値が合わないことがあります。

※ 単年度損益	△5百万円 6百万円 1百万円	△1百万円 2百万円 1百万円	△4百万円 4百万円 0百万円	△0百万円 0百万円 0百万円
---------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

〔 工 業 用 水 道 事 業 会 計 〕

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

工業用水道事業会計	平成 29 年 度 2 月 補 正 予 算 額	△ 1 4 億 3 3 百 万 円
	平 成 29 年 度 現 計 予 算 額	1 3 8 億 2 0 百 万 円
	平 成 29 年 度 最 終 予 算 額	1 2 3 億 8 7 百 万 円

上段 今回補正
中段 平成29現計
下段 平成29最終

事 業 名		事 業 費	主 な 補 正 理 由 等
収益的 収 支	工業用水道事業収益	△ 1 億 1 8 百 万 円 8 5 億 1 3 百 万 円 8 3 億 9 5 百 万 円	給水収益の増 受託工事収益の減 減量廃止負担金の減
	工業用水道事業費用	△ 2 億 0 6 百 万 円 7 4 億 4 2 百 万 円 7 2 億 3 6 百 万 円	単価変動による動力費の減 入札差金による薬品費、委託料等の減
資本的 収 支	工業用水道事業資本的収入	3 8 百 万 円 1 億 5 9 百 万 円 1 億 9 7 百 万 円	国庫補助金等の増
	工業用水道事業資本的支出	△ 1 2 億 2 7 百 万 円 6 3 億 7 8 百 万 円 5 1 億 5 1 百 万 円	設計精査等による増補改良費の減

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単 年 度 損 益	3 億 0 9 百 万 円 8 億 3 3 百 万 円 1 1 億 4 2 百 万 円
-------------	---

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

大阪広域水道企業団 平成30年度当初予算案の概要

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (水道用水供給事業)	平成30年度当初予算額	711億26百万円
	平成29年度当初予算額	815億04百万円
	平成29年度最終予算額	774億45百万円
	前年度比 (30年度当初/29年度当初)	87.3%

前年度当初比 △103億78百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・減価償却費 △3億14百万円 (対象資産の減)
 ・特別損失 △11億73百万円 (丹生ダム負担金)
 資本的支出 ・改良費 △53億83百万円 (改良費の減)
 ・企業債償還金 △28億19百万円 (満期償還額の減)

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名		事業費	主な内容
収益的 収支	水道用水供給事業収益	425億76百万円 439億56百万円 442億56百万円	営業収益(給水収益等) 40,026百万円 ・有収水量 508百万m ³ (前年当初と同水量) 営業外収益(長期前受金戻入等) 2,538百万円
	水道用水供給事業費用	386億96百万円 401億97百万円 389億37百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 35,746百万円 営業外費用(企業債利息等) 2,735百万円
資本的 収支	水道用水供給事業資本的収入	119億91百万円 150億78百万円 111億24百万円	建設企業債 9,300百万円 国庫補助金等 2,006百万円
	水道用水供給事業資本的支出	324億30百万円 413億07百万円 385億08百万円	建設改良費 22,261百万円 企業債償還金 10,169百万円

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単年度損益	21億88百万円 19億20百万円 40億51百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成30年度主要事業の概要

〔水道事業会計（水道用水供給事業）〕

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	205億79百万円 259億62百万円 225億43百万円	<p>施設の耐震化や老朽施設の更新、供給系統の二重化など府内受水市町村への安定供給を維持するとともに、災害に強い水道施設の整備を進めるため、浄水・送水施設等の改良更新事業を着実に推進する。</p> <p>(1) 震災対策 107億77百万円</p> <p>震災時においても最低限の社会経済活動を維持できる信頼性の高い水道システムを整備する。</p> <p>① 災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統連絡送水管の整備 〔庭窪～万博〕 ・バイパス送水管の整備 〔藤井寺ポンプ場～泉北浄水池〕 <p>② 既設建造物の耐震化</p> <p>ア) 浄水池の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里浄水池更新工事(新2号池) ・泉北浄水池更新及びポンプ棟築造工事 <p>イ) 水管橋の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管橋耐震補強工事 〔見出川水管橋・熊取町〕 【新】 〔山中川水管橋・阪南市〕 【新】 <p>(2) 安定化対策 35億52百万円</p> <p>安定的な水処理業務等を行えるよう、施設整備を実施する。</p> <p>市町村水道との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送水管布設工事〔千里幹線バイパス管〕 ・受水分岐の2系統化〔寝屋川市〕 ・あんしん給水栓改良工事〔5ヶ所 4市〕 <p>(3) 老朽化対策 42億74百万円</p> <p>安定かつ効率的な施設運用が行えるよう、老朽化施設の改良更新を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村野浄水場 階層系オゾン設備更新 ・枚岡ポンプ場 ポンプ設備改良工事 ・万博公園浄水施設 粒状活性炭吸着池改修工事 【新】

注) **【新】**は平成30年度新規事業

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
III. 持続可能な事業運営 (続き)		
1. 広域的な事業運営 (続き) 2. スリムな組織	1億51百万円 1億44百万円 1億44百万円	(4) 市町村との連携拡大 3億57百万円 ・藤井寺市道明寺浄水場更新工事 ・羽曳野市送水管布設工事 ・千里浄水池更新工事等(新2号池)【3市共同ポンプ施設】 (1) 更なる業務の効率化及び組織のスリム化 1億51百万円 アウトソーシングによる組織のスリム化 ・庭窪浄水場ほか 運転管理委託 ・総務業務センター運営委託
IV. 環境保全		
1. 廃棄物の有効活用の推進 及び適正処理 2. 環境に優しい水道事業体 を目指す取組み	2億19百万円 1億44百万円 1億34百万円 3百万円 3百万円 3百万円 (※ 再掲分)	(1) 浄水発生土の有効活用の推進 1億66百万円 ・村野浄水場排水処理関連施設運転管理業務 ・浄水発生土有効利用等業務 (2) PCB廃棄物の適正処理の推進 53百万円 (1) 環境学習の実施 3百万円 ・出かける浄水場の実施(再掲)
V. 国際貢献		
1. タイMWAパートナー シップ協定に基づく技術 交流	5百万円 4百万円 4百万円	(1) タイ王国首都圏水道公社(MWA)との技術交流の 取組み 5百万円

平成30年度の主要事業(水道用水供給事業)



< 府内全域 >

送水施設
 ◇あんしん水道ライン上の
 水管橋耐震補強

市町村連携
 ◇あんしん給水栓改良
 ◇受水分岐の2系統化

万博公園浄水施設
 ◇非常用発電施設設置
 ◇粒状活性炭吸着池改修

千里浄水池
 ◇浄水池更新
 ◇共同ポンプ施設設置

送水施設
 ◇バイパス送水管整備
 千里幹線 φ800～1,350 約7km

送水施設
 ◇系統連絡送水管整備
 庭窪～万博 φ1,200 約6km

送水施設
 ◇バイパス送水管整備
 藤井寺～泉北 φ1,200～2,400 約21km

送水施設
 ◇阪南・岬送水管整備
 φ300～400 約5km

泉北浄水池
 ◇浄水池更新

郡家ポンプ場
 ◇浄水池耐震補強

磯島取水場
 ◇原水水質連続監視設備更新
 ◇排水設備整備

村野浄水場
 ◇階層系オゾン設備更新
 ◇階層系GAC監視制御設備改良
 ◇塩素混和池耐震補強
 ◇W系更新検討委託

万博浄水施設

村野浄水場

三島浄水場

庭窪浄水場

庭窪浄水場
 ◇薬品注入設備改良
 ◇監視制御設備改良
 ◇後ろ過施設整備

枚岡ポンプ場
 ◇ポンプ設備改良

(新設)
松原ポンプ場

藤井寺ポンプ場

藤井寺市水道事業※
 ◇道明寺浄水場更新

泉北浄水池

送水施設
 ◇河南連絡管整備
 泉北ルート φ700～800 約7km
 河南ルート φ200～800 約10km
 柏原ルート φ300～600 約7km

羽曳野市水道事業※
 ◇送水管整備 φ150 約1km

- 浄水施設
- 取水施設・加圧施設
- ▼ 広域浄水池
- 導水管、連絡管、送水管
- ※ 市町村水道事業の個別受託

↔ あんしん水道ライン

大阪広域水道企業団 平成30年度当初予算案の概要

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (市町村域水道事業) 【3事業連結】	平成30年度当初予算額	25億90百万円
	平成29年度当初予算額	25億31百万円
	平成29年度最終予算額	25億43百万円
	前年度比 (30年度当初/29年度当初)	102.3%

前年度当初比 59百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・動力費 △10百万円(電気料金単価変動による減)
 ・減価償却費 △24百万円(対象資産の減)
 資本的支出 ・改良費 1億09百万円(改良費の増)

上段 平成30当初

中段 平成29当初

下段 平成29最終

事業名		事業費	主な内容	
収益的 収支	水道事業収益	17億66百万円 17億72百万円 17億72百万円	〔 〕内は有収水量 営業収益 四條畷 1,168百万円〔577万㎡〕 (給水収益等) 太子 251百万円〔130万㎡〕 千早赤阪 127百万円〔58万㎡〕	
	水道事業費用	17億09百万円 17億54百万円 17億58百万円	営業費用 四條畷 1,182百万円 (減価償却費、動力費、太子 258百万円 薬品費、修繕費等) 千早赤阪 157百万円	
資本的 収支	水道事業資本的収入	4億28百万円 3億62百万円 2億46百万円	建設企業債 国庫補助金等 四條畷 153百万円 四條畷 70百万円 千早赤阪45百万円 太子 26百万円 出資金 千早赤阪 47百万円 千早赤阪61百万円	
	水道事業資本的支出	8億81百万円 7億77百万円 7億85百万円	建設改良費 四條畷 318百万円 太子 137百万円 千早赤阪 197百万円	

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単年度損益	49百万円 6百万円 1百万円
---------	-----------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

市町村域水道事業予算内訳

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名		市町村域水道事業 【3事業連結】	四條畷水道事業	太子水道事業	千早赤阪水道事業
収益的 収支	水道事業収益	17億66百万円 17億72百万円 17億72百万円	13億13百万円 13億15百万円 13億15百万円	2億77百万円 2億79百万円 2億79百万円	1億76百万円 1億78百万円 1億78百万円
	水道事業費用	17億09百万円 17億54百万円 17億58百万円	12億65百万円 13億08百万円 13億09百万円	2億73百万円 2億73百万円 2億77百万円	1億72百万円 1億74百万円 1億74百万円
資本的 収支	水道事業資本的収入	4億28百万円 3億62百万円 2億46百万円	2億32百万円 1億28百万円 95百万円	27百万円 1億27百万円 33百万円	1億68百万円 1億07百万円 1億17百万円
	水道事業資本的支出	8億81百万円 7億77百万円 7億85百万円	4億96百万円 3億99百万円 3億99百万円	1億62百万円 2億18百万円 2億01百万円	2億24百万円 1億60百万円 1億86百万円

*端数処理の関係で数値が合わないことがあります。

※ 単年度損益	49百万円 6百万円 1百万円	47百万円 2百万円 1百万円	2百万円 4百万円 0百万円	0百万円 0百万円 0百万円
---------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成30年度主要事業の概要

〔水道事業会計（市町村域水道事業）〕

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
創設認可事業		
四條堰水道事業	2億52百万円 1億53百万円 1億53百万円	<p>水道事業統合に係る整備計画を基本とし、施設の重要度・老朽化の状況を踏まえ効率的に施設を整備する。</p> <p>(1) 施設の整備 1億21百万円</p> <p>中野ポンプ場の機能を四條堰ポンプ場内に移転させることにより、施設の適切配置を図る。 ・送配水管布設工事</p> <p>(2) 管路の更新・耐震化 80百万円</p> <p>老朽管路の更新を行う。 ・市道美田町2号線 配水管布設替工事 【新】 ・清滝分水路 配水管布設替工事実施設計委託 【新】</p>
太子水道事業	1億10百万円 1億34百万円 1億16百万円	<p>(1) 設備の更新 1億10百万円</p> <p>老朽化している設備の更新を図る。 ・聖和台配水池ポンプ等更新工事</p>
千早赤阪水道事業	1億52百万円 92百万円 92百万円	<p>(1) ループ管の整備 1億49百万円</p> <p>広域化に伴う、村内ループの形成及び老朽化している設備の更新を図る。 ・小吹台低区配水池第3機場ポンプ設置等工事 ・監視制御設備更新工事 ・送水管布設工事</p>

注) 【新】は平成30年度新規事業

大阪広域水道企業団 平成30年度当初予算案の概要

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

工業用水道事業会計	平成30年度当初予算額	140億98百万円
	平成29年度当初予算額	138億20百万円
	平成29年度最終予算額	123億87百万円
	前年度比 (30年度当初/29年度当初)	102.0%

前年度当初比 2億78百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・修繕費 △ 1億97百万円 (補修工事の減)
 ・減価償却費 △ 56百万円 (対象資産の減)
 資本的支出 ・増補改良費 26億47百万円 (中期整備事業計画に基づく事業費の増)
 ・投資有価証券 △ 20億00百万円 (投資有価証券の減)

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名		事業費	主 な 内 容
収益的 収支	工業用水道事業収益	85億77百万円 85億13百万円 83億95百万円	営業収益 (工業用水給水料金等) 7,546百万円 ・基本使用水量454,000m ³ /日、使用水量257,100m ³ /日、超過水量8,900m ³ /日 営業外収益 (長期前受金戻入等) 940百万円 特別利益 (減量廃止負担金) 91百万円
	工業用水道事業費用	70億54百万円 74億42百万円 72億36百万円	営業費用 (減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 6,461百万円 営業外費用 (企業債利息等) 523百万円
資本的 収支	工業用水道事業資本的収入	1億18百万円 1億59百万円 1億97百万円	工事負担金 117百万円
	工業用水道事業資本的支出	70億44百万円 63億78百万円 51億51百万円	建設改良費 5,967百万円 企業債償還金 1,077百万円

*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんします。

※ 単年度損益	11億17百万円 8億33百万円 11億42百万円
---------	---------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成30年度主要事業の概要

〔 工業用水道事業会計 〕

上段 平成30当初
 中段 平成29当初
 下段 平成29最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	59億67百万円 33億20百万円 20億93百万円	<p>工業用水の安定供給を通じて、産業基盤施設としての役割を果たして行くため、特に優先して整備すべき施設から効率的に整備する。</p> <p>(1) 震災対策 14億00百万円</p> <p>①災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス配水管の整備 [臨海の丘～浜寺公園・堺市] 【新】 [浜寺公園～高石・堺市、高石市] 【新】 ②既存構造物の耐震化 ・水管橋下部耐震補強工事 [東別府水管橋・摂津市] ・水管橋上部耐震補強工事 [東別府水管橋・摂津市] <p>(2) 安定化対策 16億84百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管布設工事 [豊中正雀連絡管・吹田市] [大庭三島連絡管・守口市、摂津市] 【新】 <p>(3) 老朽化対策 21億61百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大庭浄水場 調整池及び配水ポンプ棟更新工事 【新】 ・配水管布設替工事 [八尾本管分岐・八尾市、東大阪市] 【新】 [豊中幹線・吹田市]
III. 持続可能な事業運営		
1. スリムな組織	89百万円 87百万円 87百万円	<p>(1) 更なる業務の効率化及び組織のスリム化 89百万円</p> <p>アウトソーシングによる組織のスリム化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭窪浄水場ほか 運転管理委託 ・総務業務センター運営委託

注) 【新】は平成30年度新規事業

平成30年度の主要事業(工業用水道事業)



配水管路整備 (府内各所)
 ◇老朽管更新
 ・豊中幹線 (吹田市)
 ・正雀幹線 (摂津市)
 ・布施北分岐 (東大阪市)
 ・八尾本管分岐 (八尾市)
 ・2次工水Ⅱ期管 (堺市)

配水管路整備
 ◇配水管路のループ・バイパス化
 ・豊中・正雀連絡管 (吹田市)
 ・守口北守口東連絡管 (寝屋川市)

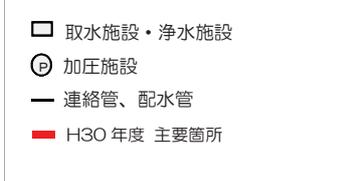
大庭～三島連絡管整備
 ◇大庭三島連絡管
 配水管布設工事

大庭浄水場
 ◇大庭浄水場
 ・調整池及び配水ポンプ施設更新工事
 ・非常用発電施設基本設計委託

既設構造物の耐震化 (府内各所)
 ◇水管橋の耐震補強工事
 ・摂津市 1橋
 ・門真市 1橋
 ・羽曳野市 1橋

配水管路整備
 ◇バイパス配水管
 ・新家～大泉緑地
 実施設計委託

配水管路整備
 ◇バイパス配水管
 ・臨海の丘～高石



災害時に対する安全性の強化（水道用水供給事業）

～庭窪～万博系統連絡管整備工事～

1 工事概要

施設整備マスタープランの推進

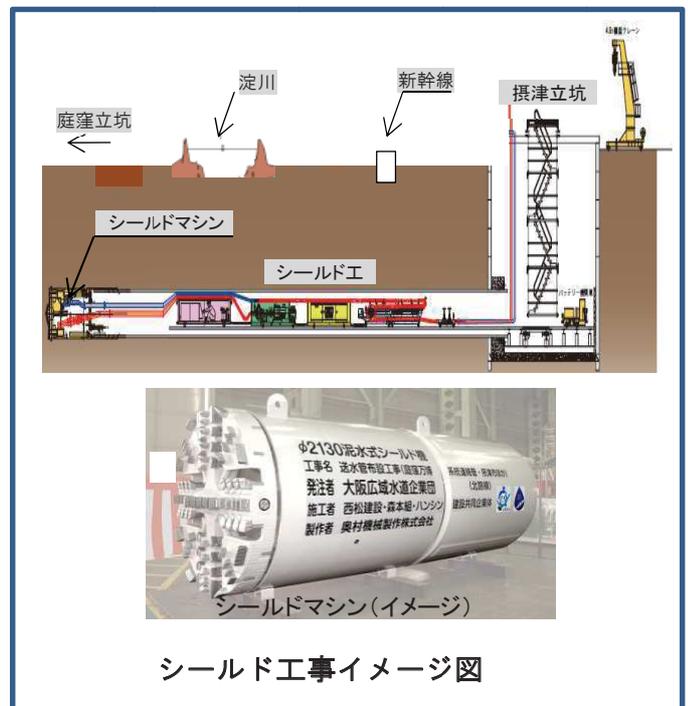
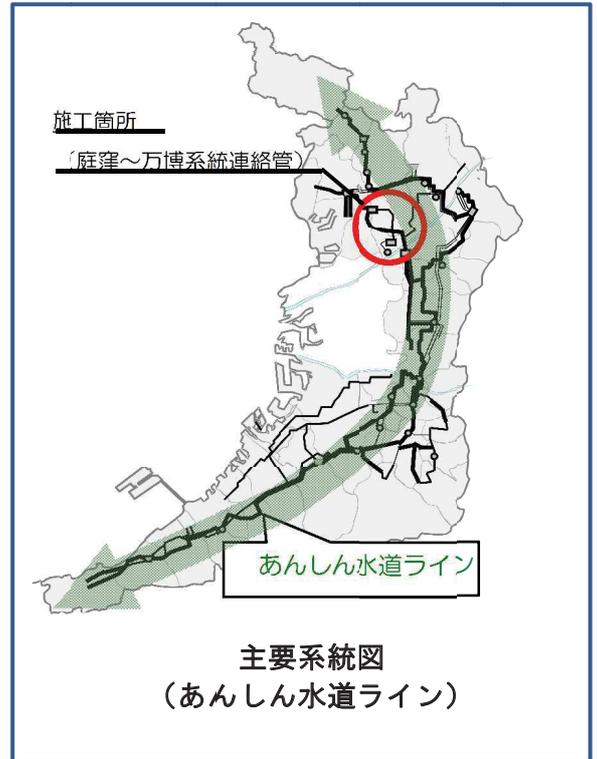
水道用水供給事業では、府内全域において主要な系統を「あんしん水道ライン」と定め、順次、施設更新・耐震化を推進しています。現在、「あんしん水道ライン」における事故・災害時のバックアップ能力を強化するため、バイパス送水管・系統連絡送水管の整備を進めています。

庭窪浄水場～万博系統連絡管の概要

本工事は、バイパス送水管・系統連絡送水管の整備の一環として、送水施設の耐震性向上とともに、庭窪浄水場の給水可能区域の拡大と効率的な水運用を図るため、庭窪浄水場～吹田立坑の約6.3kmに口径φ1,200mmの水道管を平成27～31年度にかけて整備します。

また、国交付金制度を活用した「大容量送水管」として、非常時に備えた貯水機能を有しており、災害時には応急給水拠点として活用します。

なお、本事業の管路は、幹線道路（大阪中央環状線等）に布設を行い、また、鉄道（JR・阪急）及び淀川を横断する必要があることから、開削工法が不可能なため、非開削工法であるシールド工法で行います。



2 事業費及び事業期間

予算（案）

事業費 平成30年度 5,286,370千円（総事業費 9,804,766千円）
事業期間 平成27年度～平成31年度

（単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	23,489	719,035	1,773,349	5,286,370	2,002,523

広域化の調査検討について（水道用水供給事業）

～今後の水道事業広域化に向けての検討～

1 事業概要

- (1) 泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町との水道事業の統合に係る検討委託
 （平成 29 年度 0 円、平成 30 年度 30,137 千円）
 平成 31 年 4 月の企業団と泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町（以下「7 団体」という）との水道事業の統合に向けて、統合後 10 年間（H31～40 年度）における整備内容の検討、事業認可申請書（創設認可）等の作成に係る資料の作成を 2 か年（H29～H30 年度）で行います。
- (2) 水道事業の広域化に関する調査委託
 （平成 30 年度 30,000 千円、平成 31 年度 80,112 千円）
 広域化の推進に向けて、以下の調査・検討業務を委託します。
- ① 企業団と統合の意向を示した団体との検討協議に必要となる「施設整備計画」や「経営計画」等の計画の策定（平成 30 年度 0 円、平成 31 年度 50,112 千円）
 - ② 広域化の要望のあるブロックを対象とした、水質管理、水運用管理、施設運転管理等の業務の共同化（平成 30 年度 30,000 千円、平成 31 年度 30,000 千円）

2 スケジュール（予定）

事業	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(1) 統合に係る検討委託	※1		企業団と統合	※2	企業団と統合
(2) ①計画策定業務委託					
(2) ②ブロックでの業務の共同化等検討委託					

※1 7 団体との統合に係る検討委託

※2 勉強会終了後に企業団との統合の意向を示した団体との統合に係る検討委託

3 事業費

予算（案）

事業費 平成 30 年度 60,137 千円 平成 31 年度 80,112 千円（債務負担行為限度額）

効率的・段階的な施設更新（市町村域水道事業）

～中野ポンプ場の水道用水供給事業ポンプ場内への機能移転～

1 工事概要

効率的な施設更新の推進

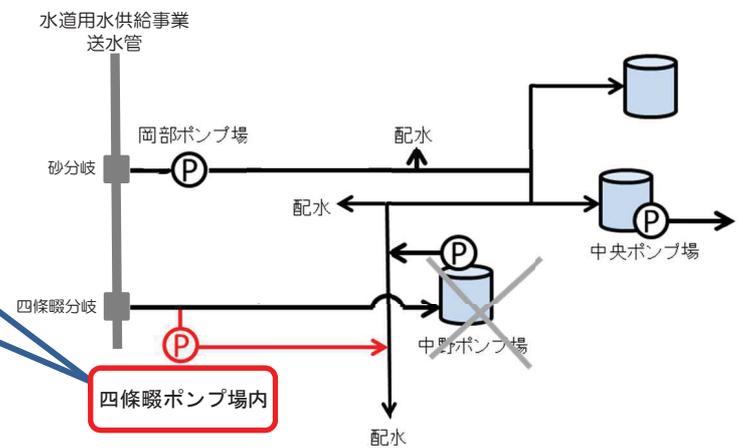
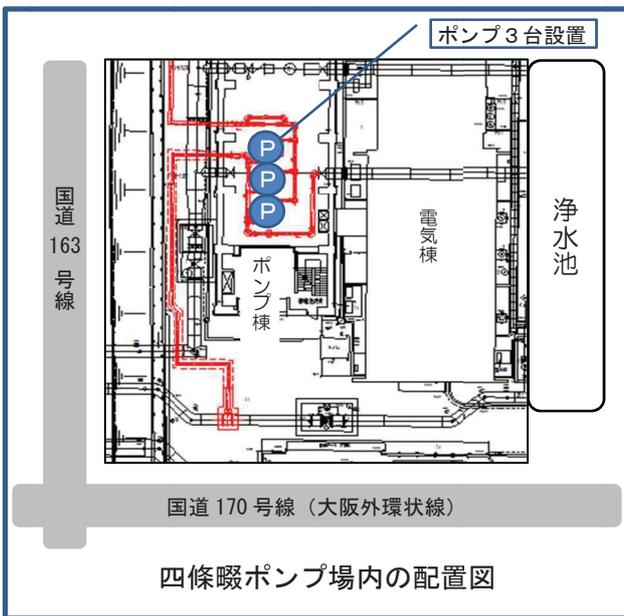
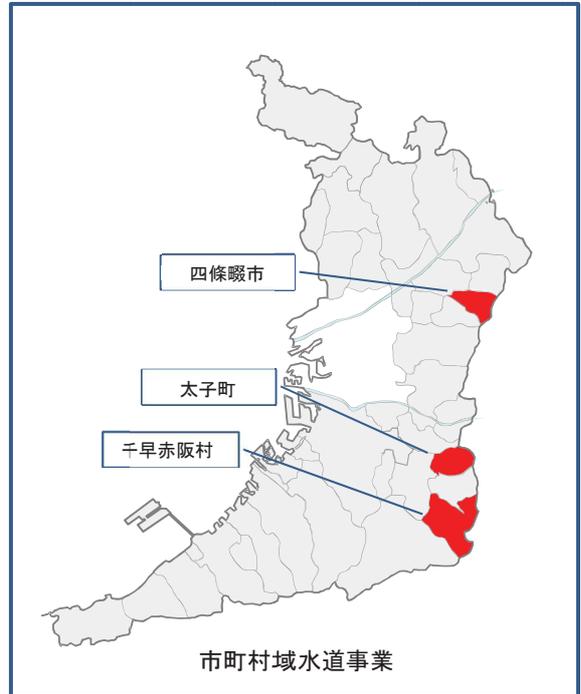
市町村域水道事業（四條畷水道事業、太子水道事業及び千早赤阪水道事業）の施設更新は、施設の最適配置を考慮し、国交付金制度を最大限活用することにより事業費の低減を図り、効率的に進めています。

中野ポンプ場の機能移転の概要

本工事は、水道用水供給事業の用地の活用により、中野ポンプ場の機能を四條畷ポンプ場内へ移転するものです。

これにより送配水運用の安定化及び事故時におけるバックアップ機能の向上や残存水圧の活用による動力費の縮減を図ります。

平成 29 年度から着手しており、平成 32 年度中に運用を開始する予定です。



2 事業費及び事業期間

予算（案）

事業費 平成 30 年度 120,580 千円（総事業費 525,610 千円）

事業期間 平成 29 年度～平成 32 年度

（単位：千円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
事業費	30,000	120,580	207,090	167,940

効率的・段階的な施設更新（工業用水道事業）

～大庭浄水場調整池及びポンプ棟更新工事～

1 工事概要

施設整備マスタープランの推進

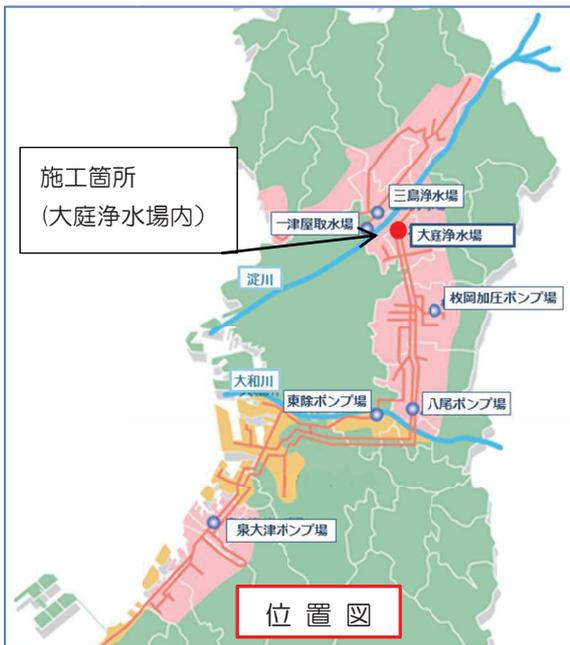
工業用水道事業では、本格的な施設更新の時代を迎える中、計画水量を見直して、将来の水需要に対応した施設規模へダウンサイジングすることに加え、アセットマネジメントの実践による施設の長寿命化を図りつつ、効率的な施設更新・整備を実施しています。

大庭浄水場調整池及びポンプ棟更新工事の概要

基幹浄水場である大庭浄水場は、平成23～36年度を計画期間として、老朽化した施設の更新にあわせて耐震化を図っています。

調整池及び配水ポンプ棟更新工事は、現在稼働中の南西側沈澱池（S1系）を停止・撤去した後に築造するもので、平成33年度末の完成を目指して進めていきます。

工事着手する平成30年度は、施工エリアに埋設されている配水管の布設替工事及びS1系沈澱池の撤去工事を実施する予定です。



- <工事概要>
- 調整池築造工事
RC造 5000 m³×3池=15000 m³
(長さ56m、幅18m、水深5m)
 - 配水ポンプ棟築造工事
RC造 地下1階、地上2階
延床面積 3126.84 m²
 - 南西側沈澱池（S1系）撤去工事
 - 場内配管布設工事



2 事業費及び事業期間

予算（案）

事業費 平成30年度 858,000千円（総事業費 7,574,000千円）
事業期間 平成30年度～平成33年度

（単位：千円）

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
事業費	858,000	2,770,000	2,287,000	1,659,000

平成 29 年度給与改定の概要

【改定内容】

〔月例給〕 給料表改定（平均改定率 0.05%）

実施時期：平成 29 年 4 月 1 日

（大阪府人事委員会勧告どおり）

〔特別給〕 勤勉手当 0.1 月引上げ

実施時期：平成 29 年 4 月 1 日

（大阪府人事委員会勧告どおり）

【影響額】 平成 29 年度 2.1 千万円／年